

平賀氏の築いた城・館と城下町

ひんやりとした空気と心地よい日差しを感じながら、東広島市を路線バスで移動しながら楽しく見学してまわることができました。午前中は、白市の町並みを歩きながら、焼酎を作っていた大藤家住宅、紅葉がきれいな光政寺、今も水が湧いている城河、三層構造でできている西の河、ミステリアスな堀がある御土居遺跡の見学をしました。午後からは、国の重要文化財となっている旧木原家住宅、彫りの美しさが際立つ養国寺を訪れ、最後に正原薬師堂に伝わる「線刻十一面観音像」を見るという貴重な経験をして、今年度最後の遺跡探訪ツアーを終えることができました。タイムスリップしてきた人のように、当時のことを説明して下さる東広島市教育委員会の吉野さん、その話をしっかりと聞いて、写真を撮り、メモを取り、更なる学びへとつなごうとしている参加者のみなさんに、たいへん刺激を受けました。ご協力、ご参加、ありがとうございました。



白市の町をてくてく



大藤家住宅

光政寺は個人のお寺です
人物名に由来するお寺の名前です



光政寺へ



焼酎造り



苦労して運んだ水で焼酎造り



光政寺



城河



西の河

河とは井戸のことです



白山城を見ながら御土居遺跡から移動



頑丈な柱に支えられた広い空間は落ち着きます

旧木原家住宅(内)

旧木原家住宅(外)



旧木原家住宅の鬼瓦には「寛文5(1665)年」と刻まれています



養国寺

美しい龍の彫刻

線刻十一面観音像にご対面



正原薬師堂